

特定非営利活動法人 アンジュ・ママン 設立趣旨書

1 《 趣 旨 》

核家族化や少子化が進む現在、子育てに対する精神的負担感や孤立感を抱いている親が多く、私たちもその感を抱きながら、子育てをしていました。

平成16年につどいの広場、通称「花っこルーム」が開所され、私たちは、ここを利用しながら、育児の仕方や乳児の成長発達、子どもの病気や予防接種のこと、市内の幼稚園や保育所の情報などの多く知識を学び、多くの情報を知り「子育ては楽しいんだ」「子育てに悩む母親は自分ひとりではない」という安心感を受けました。

平成19年、私たちは「花っこルームに恩返しをしたい」という想いで、子育て支援団体「アンジュ・ママン」を結成し、花っこルームの運営をまかせてもらうようになりました。

「アンジュ・ママン」という名前はフランス語で「天使のお母さん」という意味です。利用者がいつも居心地の良い場所だと感じてもらえるように、和やかな優しい雰囲気作りに心がけてこの名前を付けました。

私たちの花っこルームは、それぞれの子どもたちの生活リズムにあうように、ノンプログラムで、自由に来て自由に帰る、いわば「セカンドハウス」「室内公園」的な感覚での運営をモットーとし、年間行事には、季節の行事や世代間交流、父親育児参加、また、スタッフの資格や特技をいかした、英語であそぼうや読み聞かせ、プレママ講座などの多彩な行事を盛り込んだ「手作りの広場」が特徴です。

私たちは、このような活動を通じて「まだまだ自分たちに出来る子育て支援があるのではないか」と思うようになり、一時預かりや病後児を預かることなどスタッフや広場の利用者の「あったらいいな」に対応できるような子育て環境を今後は作っていかせたらと強く感じるようになりました。

今後さらに子育て支援の活動が継続し、発展できるようにとの思いから法人格をとり、より社会的信頼を得、幅広い人材の方々にかかわっていただきながら、「地域の子育て支援力」の向上を図っていきます。

また、この広場が「子育て支援の拠点」の一つとなり、自分たちの活動が、市民のみなさんに親しまれ、愛され、信頼されるものになるように取り組んでいきます。

「子どもも親も地域の大切な宝物」です。そんな子育て家庭に対して、親子

を中心とした地域との交流、子育て支援に関する情報提供、相互援助活動による家族支援、病後児の一時預かりの大きな四つの取り組みを柱に、「子育て、親育ちのできる環境づくり」「安心して子育てしやすいまちづくり」「子どもが子どもらしくのびのびと育つ笑顔が輝くまちづくり」の推進のために、地域の多くのみなさんとともに貢献していきたいと思い、特定非営利活動法人アンジュ・ママンを設立することとします。

そして、私たちは、生まれ育ったこの町、仏の里に建立された仁王像のまるで語りあっているような雰囲気、「阿(あ)・吽(うん)の呼吸」のように、お互いの呼吸を読み取り、お互いの感情を合わせるように「あ・うんの気持ちで子育てを」を法人のキャッチフレーズとして活動していきます。

2 《申請に至るまでの経過》

平成19年4月 子育て支援団体「アンジュ・ママン」を結成

同年、市より「地域子育て支援拠点事業」を受託

平成21年4月より、スタッフ内においてNPO法人化への会議を月に2回開催

平成21年 9月10日、第1回発起人会を開催

平成21年 9月24日、第2回発起人会を開催

平成21年10月23日、第3回発起人会を開催

平成21年11月18日、設立総会を開催

平成21年 3月 8日

特定非営利活動法人 アンジュ・ママン

設立代表者 住所

氏名 吉原安彦 ⑩